

## 令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 船越小 ）学校運営協議会長

### <評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校のランドデザインの基、イベントの開催やボランティアの募集など、地域、家庭を含め、子供を育てる目標を共有できたと思う。委員相互の信頼関係も深まりつつあると感じる。
- 学校運営の基本方針や、活動報告、これからの課題、キャリア教育について等、ほぼ理解することができた。「学校生活でも少しずつコロナと共に活動ができるようになってきたようであるが、以前とは社会状況が違うので、子供の心の変化等にも注視していく必要があるのでは」と話し合いができた。
- 開始初年度ということで、学校の現状、今後の教育方針について学び、熟議する機会となった。それぞれの経験や立場から、多様な意見が出され、大変有益な機会となった。
- 資料にある文字を理解しただけで、次につなげることができるまでには至っていないところもある。

### <評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 通学路の安全への協力など、地域との協力をし、学校運営にも参加している。
- キャリア教育について特に話し合いができた。夢をもつ、将来への見通し、という点では、以前のように考えられなくなっている。どのように子供たちへのアプローチをしていけばよいのか話し合いができた。
- すでに学校でのキャリア教育が多く実施されていて、驚いた。学校と地域が、どのようにつながれば子供たちにとってよりよいものになるか、考えていきたい。
- 今年度は、例年行われている活動を協議会で熟議、追認するかたちで、活動が展開された。活動に必要なボランティアは、委員、学校の協力により集まり、適切な活動ができてよかった。今後、更に充実させるために、地域資源について、情報収集等に努めたい。
- この2年間、まったくなくなってしまう日常を取り戻すために、少しずつ活動を進めたが、まだまだとても十分とはいえず、こちらも来年度に向けて、さらなる熟議をし、活動につなげていきたい。
- 今年度スタートの活動であるが、地域の方たちにも参加していただける活動ができた。
- 子供たちにとって、必要な力、育てたい力は何か？についての話し合いは前回の会議で行うことができたが、「何を」行うかなどの具体的なところまでには至っていない。
- 学校からの要望をもう少し広げて共有できるといい。

### <評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 地域には、自治会など、数多くの団体があり、各団体に、年間計画の一部に学校運営の活動の一部を取り上げるよう努力する。地域にお願いしたい活動があったが、ボランティアの組織化が必要である。
- 現状の子供たちに寄り添ったサポートの必要を感じた。
- 学校運営協議会が開催されて3回目。まだ評価をするまでに至っていないが、まずは、学校、委員、コーディネーター全員が相互に理解し、協力して、子供たちのために活動していくチームワークが必要であると思う。
- 学校、PTA、学校運営協議会の位置付けが、保護者には理解されていないので、それぞれの活動を精査して、学校運営協議会の理解を深めてもらえる様に努めていきたい。
- 学校・家庭・地域で一緒に、子供を育てる必要性がある。今年度は、PTAとの関わり方が不明確だったような気がするので、来年度はPTAと共有し、円滑に行事に関われる体制になるといいと思う。